

歴史遺産語り

鳥羽のきらり

教育委員会生涯学習課 TEL 25-1268

知られざる
鳥羽の魅力を
たっぷり
お届けします！



豊田祥三
鳥羽市文化財専門員

鳥羽における

戦争の記憶

今年には太平洋戦争の終戦から81年目を迎えます。毎年8月には広島市・長崎市で平和記念式典が、東京では全国戦没者追悼式が行われています。鳥羽市でも毎年10月に戦没者追悼式が行われています。

鳥羽地域は、中京地区を抱える伊勢湾の入り口に立地していることから、戦路上重要な防衛拠点であったため、「伊勢防備隊」という部隊が設置されました。

当時の鳥羽町内でも昭和20年には幾度となく米軍の戦闘機による空襲がありました。

特に、相島（現在のミキモト真珠島）には伊勢防備隊の本拠地があったため、米軍の攻撃の標的となり7月25日には、海防艦が攻撃により座礁

し、航行できなくなっていました。

また、市内には来るべき

本土決戦にむけた特攻艇「震洋」の基地もつくられました。

「震洋」はベニヤ製のモーター

ボートで、船体の先に250

キロの爆弾を積んで敵の上

陸艇に体当たりして、もろと

も爆死するという特攻艇で

した。鳥羽では出撃するこ

とはなかったようですが、こ

の特攻や事故により全国で

2500人ほどが亡くなっ

ています。

今でも市内にはこの時に設

置された基地の跡が随所に

残っています。有名な神島の

監的哨跡も大砲の試着弾を確

認するための施設でした。

当時の鳥羽地域全体でも戦

地に3000人余りの人々が

動員され、戦没者も1160

人にのぼり、多くの人が命

を落としました。鳥羽市中央



伊勢防備隊の供養塔



鳥羽市の文化財

公園の片隅には伊勢防備隊の供養塔がひっそりと建っています。

今、世界で多くの戦争が起こっています。平和な時代に生きる私たちは同じ惨禍を繰り返さないように改めて戦争について考える必要があります。

鳥羽市が誇る四季折々の「鳥羽さかな」を漁協さんご紹介！

8月

旬の鳥羽さかな

vol. 20

観光商工課観光係
TEL 25-1157
農林水産課水産係
TEL 25-1167

クルマエビ



が、新鮮なものは刺身がおすすすめです。透明感のある身は噛むほどに甘みが広がり、クルマエビ本来の風味を堪能できます。また、塩焼きにする

と香ばしさと旨味が増し、天ぷらにするとサクサクの衣と弾力のある身の対比を楽しむことができます。

クルマエビは、海女文化が息づく鳥羽のまちと深く結びついています。鳥羽市は海女のまちとして全国的に知られ、古くから海の恵みを大切にしながら暮らしを営んできました。クルマエビもまた、鳥羽の豊かな海を代表する海産物の一つで、市内の旅館や飲食店では伊勢えびやアワビと並び人気食材となっています。伊勢志摩地域では、祝い事や会席料理にも使われることが多く、特別な食材として親しまれています。

鳥羽では、一般的に4月から9月頃までが漁期です。鳥羽の海が育んだクルマエビをぜひご賞味ください。